



令和3年4月1日  
内閣府沖縄担当部局

## 令和3年度北部振興事業の実施について（第1回）

### 1. 事業の概要

沖縄県及び北部市町村の要望に基づき、産業の振興、定住条件の整備に資する事業を実施。

### 2. 今回配分の状況（国費ベース）

非 公 共 事 業
継続 1 事業
今回配分額 1. 2 億 円

※詳細は別添資料のとおり

（参 考）

<予算計上>

○沖縄北部連携促進特別振興事業費（非公共事業） 令和3年度予算額34.5億円  
・補助率：8／10

<今回の配分の考え方>

○沖縄県の均衡ある発展を図る観点から北部地域の振興に資する事業に対し配分する。  
○配分対象の事業は、北部12市町村から北部地域の振興に資するものとして要望されたもの。

\* 問合せ先 \*

政策統括官（沖縄政策担当）付  
（担当 苧坂、中原）  
電話 03-6257-1693  
FAX 03-3581-9761

## 令和3年度に実施する振興事業について

令和3年4月1日

## 【非公共事業】

テーマ： 定住条件の整備

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和3年度事業費 (うち国費)
沖縄北部地域救急・救助ヘリ運航事業  (北部広域市町村圏事務組合)	令和2年度 ～ 令和3年度	148百万円  (118百万円)
<p>沖縄県北部地域は、広範囲に山岳地帯が広がるとともに3つの離島を所轄し、地理的問題から交通面において不利な条件下にある。陸上救急搬送に長時間を要することが多く、離島は救急搬送船等により対応を図っているが、天候や海象に大きく左右される。沖縄県ドクターヘリの発着基地（浦添市）から救急現場に到着するまでの、ドクターヘリ到着15分圏内（半径50km）からも大部分が外れている。また、山岳地帯における捜索活動の迅速化による早期救助に対するニーズも高い。</p> <p>本地域において、医療環境の充実は定住促進を図る上で重要であり、また、世界自然遺産への登録が期待される中で益々増加する観光客の安全安心を確保する上でも重要となっている。</p> <p>本事業により、伊江島空港を拠点とし、救急・救助ヘリの運航を行うことは、救命救急を強化し、本地域の安全安心な定住条件の整備と観光産業振興に寄与するものである。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

# 令和3年度 北部振興事業(非公共)(1次配分)配分事業箇所位置図

伊平屋村

伊是名村

【継続】

【北部広域市町村圏事務組合】 R2-R3(内閣府)  
沖縄北部地域救急・救助ヘリ運航事業

※本事業は、北部12市町村全域を対象としているため配分事業箇所として北部地域全体を赤線で表示している。

● 伊江村

ヘリポート・医師待機場所  
伊江島空港

今帰仁村

本部町

大宜味村

東村

国頭村

● ● 名護市

北部地域における主な救急搬送先  
北部地区医師会病院、県立北部病院

恩納村

宜野座村

金武町

テーマ: 定住条件のための整備

事業主体: 北部広域市町村圏事務組合

事業数: 継続1事業